

1. レポート・論文を書く順番

① 準備

レポートのテーマを決める

- 課題に関連して、賛成と反対両方の立場を意識する
- 複数の文献やウェブサイト进行调查し、テーマを決めていく



② 調査

信頼できる情報を得る

- ウェブサイトを参考文献に使用する場合は必ず作成者が明示されているかを確認する
- 論文検索サイトを活用して論文を探す(CiNii Articles等)図書館を利用して、論文の現物を用意する

③ 執筆

文章を構成する

- テーマに関する賛成の立場について説明する
- 反対の立場について説明する
- 自分の主張を打ち出す
- 自分の主張の根拠を示す
- 具体的な結論を掲げる
- テーマを適切に示したタイトルをつける

2. レポート・論文を作るコツ

① 情報源は引用と出典で明らかにする

- ・ 引用部分は『 』(かぎかっこ)で表すなどして、はっきり分かるように明示する
- ・ 引用した情報の書き方は、どれかひとつに統一する ⇒ [3.参考文献・引用文献の書き方](#) 参照

② 複数の情報源を確認する

- ・ 課題に関連性のある論文は「CiNii Articles」や「Google scholar」で検索する
- ・ ネットで検索した情報は「きっかけ」として使用する
- ・ 出典や引用元の書かれていない情報は信用しない

情報館に所蔵がない論文や図書は、他の図書館から取り寄せることが可能。詳しくは2F図書カウンターへ。

③ 反対意見・反対の事例を探す

- ・ 一つの情報だけを信じるのではなく、複数の情報や論文に目を通してみる
- ・ 自分に都合のいいデータや意見だけではなく、反対のデータや意見も見てみる

④ 「論じるべきこと」をみつける

- ・ テーマを示すようなタイトル(題名)をつけ、冒頭でテーマを選んだ理由について示す
- ・ 個人の興味や好みを主張する「感想文」ではなく、学問的・社会的に問題になっていることを「レポート」に書く
- ・ 複数の情報源の間で矛盾点や対立点があるものが、「問題にすべき点」である

⑤ 「思う」「感じる」「考える」「印象を持った」は禁止

- ・ 賛否両方の立場の主張について客観的な根拠を比較し、客観的に「正しい」といえる結論をだすため、「思う」「感じる」などの曖昧な意見の書き方は、レポートや論文ではNG
- ・ 「思う」「感じる」を消して、「～だそうだ」「～と言われている」とし、その理由や根拠・情報源(出典)を書く

⑥ 接続詞をいれる

起：テーマ 「論じるべきこと」を書く

承：「たとえば、」 テーマに関する具体的な例を挙げる

転：「しかし、」 承で論じた例の反対意見を述べる

結：「それゆえ、」 結論を導き、最後のまとめをする

【！】情報源が不確かなものは避ける

- ・ 著者が分からないWeb上の記事
- ・ ウィキペディア
- ・ 孫引き(他の本に引用された文章をそのまま用いること)

⑦ 具体的な結論を出す

NG例

- ・ 「難しい問題なので、真剣に考えなければならぬ」レポートを書く段階で調べておかなければならぬ
- ・ 「最近の学生は学力が低下している」他人事っぽくみえてしまう
- ・ 「自動車社会そのものを改めるべきだ」不可能・非現実的な結論
- ・ 「マスコミの情報を鵜呑みにせず、正しい情報を知らなければならぬ」具体的に何をしたらいいのか良くわからない

客観的根拠に裏付けられた「具体的な結論」を、堂々と主張しよう！

3.出典・参考、引用文献の書き方

専門分野によってルールが異なることがあるため、担当教員の指示に従うようにしてください。

参考文献と引用文献の違い ※同じように扱われる場合もあります。

「参考文献」：論文中での引用はないが、論文を作成するにあたって参考にしたもの

「引用文献」：論文中で実際に引用したもの

■出典の書き方

① 論文の場合

著者名(出版年)「論題名」編集者名「論文の掲載された本出版社名」

② 図書の場合

著者名または編集者名(出版年)「本の題名」(文庫・新書・叢書の表記)出版名

③ 新聞の場合

執筆者名「記事名」『新聞名』記事分類(編集局所在地)発行年/月/日・朝夕刊の別 版数(ページ)：引用段

④ インターネットで発表・公表されている論文・資料

著者名「ページのタイトル」『サイト名』最終更新日、サイト運営者(サイト名と著者名が同一でない場合のみ)〈URL〉(閲覧日)



■参考文献・引用文献の書き方

1、本文中に差し込む

『ハイブリットカーの虚実』という本によると、「ハイブリットカーの製造時には、通常の車の約1.5倍のCO2が発生するのである(山口裕之(2009)『ハイブリットカーの虚実』徳島書店,p.122,)。つまり・・・

2、注に書く

『ハイブリットカーの虚実』という本によると、「ハイブリットカーの製造時には、通常の車の約1.5倍のCO2が発生するのである。¹

註1 山口裕之(2009)『ハイブリットカーの虚実』徳島書店,p.122

3、文献一覧で示す

『ハイブリットカーの虚実』という本によると、「ハイブリットカーの製造時には、通常の車の約1.5倍のCO2が発生するのである」のである(山口裕之,2009,p.122)。

参考文献・ウェブサイト一覧

1) 山口裕之(2009)『ハイブリットカーの虚実』徳島書店

4.レポート・論文作成に役立つ資料

情報館内にて配布中



「レポートの書き方入門」

初めてレポートを書く際に参考になる冊子。手順や構成、ルールなどが簡単にまとめられている。



「レポートの情報収集入門」

レポートを書く際に必要な情報収集に役立つ冊子。資料集めの初歩的なことがまとめられている。

参考文献

山口弘之(2013)『コピペと言われないレポートの書き方教室』新曜社

二通信子・大島弥生他(2009)『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会

京都精華大学が契約している データベース一覧

	Japan Knowledge Lib	「日本大百科全書」「日本国語大辞典」等を中心に各種辞・事典類を収録。
	聞蔵Ⅱビジュアル	明治12年以降の紙面イメージや1985年以降のPDFや切り抜きも見る事ができる。
	★ G-Search	企業情報、人物プロフィールから、法律・特許、マーケティングレポート、科学技術情報まで収集。
	★ 日経テレコン21	ビジネス関連情報（企業・人事・マーケット等）の提供サービスもある。
	ヨミダス歴史館	日本語の変遷などを調べるのに便利。
	JSTOR Arts&Sciences Ⅲ・Ⅴ	大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引など、日本の学術論文を中心とした論文情報を収録。
	CiNii Articles	言語学、文学のほか音楽、宗教学、歴史、芸術、建築分野の重要タイトルを収録。
	Journal Web	情報館で講読契約している洋雑誌の電子ジャーナル版。
	Popular Culture Magazine Digital Archive	音楽、映画、ファッションなどの雑誌記事本文を検索・閲覧が可能。
	MAGAZINEPLUS	論文がどこの雑誌に収録されているかを検索できる。ILLサービスを利用して文献複写依頼が可能。
	eBook Collection (EBSCO)	提供タイトルの『現代史資料:1-30,別巻』（みすず書房）の閲覧、本文検索や印刷ができる。

★ … 代行検索サービスのデータベース

2Fと図書カウンターで申込むことができるサービスのこと。

検索結果の表示・本文の閲覧・印刷には別途費用がかかります。